

事例 18 ネイバーフッド・パワー・プロジェクト（アメリカ、ワシントン州シアトル）

概要

地域の持続可能性を高めるプロジェクトである。シアトル市では、市営電力会社シティライト省エネ促進事業に、市の環境・生活関連部局も参加し、市民・民間会社を巻き込んで取り組んでいる。エネルギー、水、その他の資源利用削減、廃棄物排出量の少ない市民生活の推進、シアトル市とコミュニティの協力関係の構築を目的に行われている。毎年 7 月から翌年の 6 月までの 1 年間行われる。

テーマ	地域の持続可能性を高める省エネ事業
主体・キーパーソン	シアトル市、市営電力会社シティライト
手法・技術	省エネ・省水製品の使用 断熱材の使用 ボランティア、コミュニティの形成

背景

市とシティライトは、1995 年から毎年、1 つの地区を選んで本事業を実施している。1995 年から 1997 年までは、温暖化防止分野の非営利財団から資金援助を受けて大規模に行っていたが、1998 年からは規模及び内容を変更して実行している。

【これまでのネイバーフッドプロジェクト】

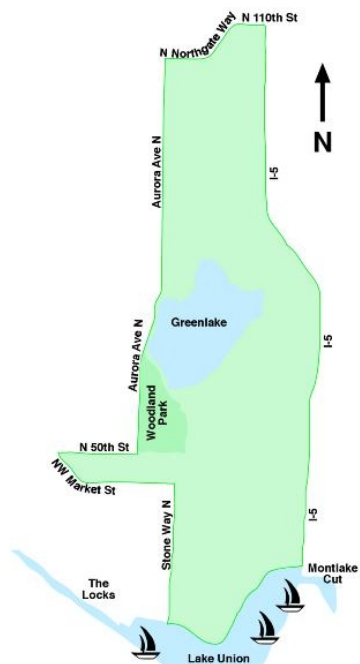
年代	地区名
1995	フリーモント
1996-97	ジョージタウン/メープルヒル
1998	レイクシティ
1999	サウスイーストシアトル
2000	デルリッジ
2001	セントラル地区
2002	グリーンウッド/フィニー
2003-04	バラード
2004-05	ノースレイナー/インターナショナル地区
2005-06	ユニバーシティ地区
2006-07	ウェスト・シアトル
2007-08	メープルリーフ
2008-09	クイーンアン/マグノリア
2009-10	グリーンレイク/ウォーリングフォード

取り組みの内容

市では市営電力会社シティライトの省エネ促進事業に参加し、毎年 1 つの地区で事業を実施しており、市民・民間企業も参加する。資源の節約や効果的利用、廃棄物の排出の削減に向けて、地域が総合的に取り組むことが、地球温暖化防止と持続可能性を高めることにつながるとの考えで行われている。エネルギー、水、環境といった貴重な資源の節約、シアトル市とコミュニティとの強い協力関係、効果的な供給サービスのための市の部門間での協調を促進することを目標としている。

1. グリーンレイク／ウォーリングフォード

2009 年 7 月から 2010 年 6 月に実施地区に選ばれたグリーンレイク／ウォーリングフォードの取り組みを挙げる。コミュニティの資源とサービスの意識向上、防犯のための照明装置の改善、エネルギーと資源管理の促進が目標となっている。



グリーンレイク／ウォーリングフォードの地図
(出典：シアトル市HP)



グリーンレイク／ウォーリングフォードの
ネイバーフッド・パワー・プロジェクトのロゴ
(出典：シアトル市HP)

①住宅・設備器具の保全

・家屋調査

検査員が単世帯の現在のエネルギー使用の包括的な実績評価を指導し、消費を減らす方法について助言する。

・集合住宅の断熱対策

電気暖房している集合住宅に断熱対策を施すコストを割り引くもの。

・家屋修繕ローン

シアトル市住宅局の制度利用を勧めている。

- ・照明器具の割引

中小企業が照明を効率の良い器具に交換した場合、シティライトが費用の最高 100%を補助する。

- ②コミュニティ活動の喚起

地域の防犯意識を高めること、及び地域の住民が互いに知り合うことを目的に行われる。

- ・蛍光灯の手渡し

ボランティアとして、エネルギー消費の少ない電球型蛍光灯を隣近所に届ける。蛍光灯はシティライトが用意し、グリーンレイク／ウォーリングフォード内の居住者に 2 個配ることが目標になっている。

- ・街頭

隣近所、コミュニティ委員会と協力して、街頭照明の改良が必要な場所を探す。

- ・住宅の安全確認

シアトル警察に住宅の安全確認を依頼する。

- ③環境整備

- ・一斉清掃日

地域ボランティアが、グリーンレイク／ウォーリングフォード内の公共物を清掃する。

- ・鮭にやさしい園芸

鮭が生息できる清流を維持するために、電話相談やウェブサイトで市民に家庭園芸での化学薬剤の使用抑制を勧める。

- ④イベント

パレードや農業市場、お祭り等が行われる。

2. 事業の進め方

対象地域の選定にあたっては、警察、公共事業（上下水道・ごみ）局、住民局、公園局等の関連部局と相談し、事業効果が上がる地区かどうかを判断する。地域の市民センター館長の意見や、人種、収入状況も考慮している。

住民や中小企業にプロジェクトを説明し、住宅調査、蛍光灯配達、スマートビジネス等のボランティアとして参加を求める手紙や、対象地域内で事業活動を紹介する集会を開き、事業の周知を図っている。このほかにも、新聞にインセンティブプログラムの広告掲載、関係団体とのワークショップ開催といった事前準備が行われ、計画を実施している。

成果と課題

プロジェクトを行う地域によって異なるが、1年を通して削減される電力量は、130世帯の電力消費量に相当する、1,300,000～1,400,000kWhを見込んでおり、実績も上がっている。

2007年から2008年にプロジェクトが行われたメープルリーフでは、30店舗への照明器

具の補助で 300,000kWh、5,000 個以上の玄関灯の手渡しで 165,000kWh、253 個の節水シャワーの利用で 69,000kWh、合計で 534,000kWh が 1 年間に削減されている。

【ネイバーフッド・パワー・プロジェクトの結果一部】

	照明器具への補助	玄関灯の手渡し (kWh)	節水シャワー等の利用 (kWh)	合計削減電力 (kWh)
デルリッジ (2000)	57 店舗	3,206 個	439 個	1,185,234
セントラル地区 (2001)	70 店舗	4,560 個	600 個	1,143,349
グリーンウッド／フィニー (2002)	69 店舗	7,000 個以上	500 個以上	1,322,802
バラード (2003)	90 店舗以上	1,300 個以上	800 個以上	1,346,000
ノースレイナー／インターナショナル地区 (2004)	140 店舗以上	6000 個以上	1000 個以上	1,200,000 以上
ユニバーシティ地区 (2005)	140 店舗以上	6000 個以上	200 個以上	1,500,000 以上
ウェスト・シアトル (2006)	100,000	402,000	101,000	1,503,000
メープルリーフ (2007)	300,000	165,000	69,000	534,000

[参考文献・資料]

- ・シティライト HP

<http://www.cityofseattle.net/light/conserves/neighborhood/power/default.asp>

- ・環境省地球局企画、全国地球温暖化防止活動推進センター編集、イクレイ - 持続可能性を目指す自治体協議会協力 (2005) 「海外先進都市事例集」

・チャレンジ 25 キャンペーン HP <http://www.team-6.jp/teitanso/about/world/seattle/>